



# 六花酒造

## ROKKA SHUZO

六花酒造は、  
岩木山の麓へ酒蔵移転し再出発。

### ◇ 会社概要

弊社は、桜祭りでも有名な弘前城がある、青森県弘前市の「六花酒造 株式会社」という酒蔵です。1719年(享保4年)、「高島屋酒造」が創業し、1972年(昭和47年)に弘前市の酒蔵「白梅酒造」「川村酒造店」が集結し弊社が誕生しました。社名は、美しく清らかに舞う六角形の雪の花(雪の結晶)にちなみ、津軽平野の信仰山「岩木山」の伏流水で醸す芳醇な日本酒の誕生を願い、当時の弘前市長が命名。

移転前の酒蔵は、会社設立当時の、日本酒が大量消費・大量生産されていた時代に対応する大規模設備で、約1万坪の敷地に昭和48年に建設。津軽の方言で”意地っ張り、頑固者”を意味する言葉である『じょっぱり』ブランドにて、本醸造酒を主力に事業展開し、最盛期には2万石の生産を行ってきました。

### ◇ 移転経緯

弊社がこれまで主力としていた本醸造酒の消費量が年々減少する中、近年は消費ニーズが高い、純米酒の製造にも力を入れてきました。設立ときに建設した酒蔵は、築50年を超え、老朽化が激しく、他酒蔵に比べるとお世辞にも「高品質な純米酒」を製造することに適した設備環境ではありませんでした。そのような環境下においても杜氏をはじめとする蔵人たちの知恵・技術を結集し、様々なコンペの純米酒部門で受賞するなど(受賞歴参照)、高い醸造技術を有しています。弊社の杜氏・蔵人は日本酒の他、焼酎・リキュールの製造も行ってきており、酒類の幅広い製造知識を有していると自負しております。消費ニーズが変化する時代において、創業300年を超える酒蔵の存続をかけ、弊社の強みである杜氏・蔵人の醸造技術を最大限に発揮できる環境を整えるために、移転を決意。このたび実現しました。

#### これまでの主な受賞歴

全国新酒鑑評会 金賞  
(平成26年・27年・30年)

東北清酒鑑評会 評価員特別賞  
(令和3年 出品127品の内2位の評価)

東北清酒鑑評会 優等賞  
(平成24年・25年・26年・令和元年・2年)

IWC金賞  
(平成25年・26年・28年・30年・令和2年)

ワイングラスでおいしい日本酒アワード 金賞  
(平成29年・31年・令和2年・3年 R3は最高金賞)

### ◇ 新酒蔵について

良質な水と、より良い醸造環境をもとめ、市街地から離れ、「津軽富士」といわれる新日本百名山である「岩木山」まで車で約10分、世界自然遺産である白神山地までも車で約15分の、岩木川に面した自然豊かな地へ酒蔵移転しました。岩木山系の伏流水に加え、酒蔵近隣でとれた青森県の酒造好適米を中心に、津軽の風土を活かした醸造を行います。移転以前の酒蔵では、設備の老朽化や資金面の問題から、杜氏が求める設備を整えることができていませんでした。新酒蔵においては、杜氏が切望する醸造設備をすべて導入し、より高品質な日本酒を醸造できる環境を整備しました。生産規模とすれば700石と小規模ですが、品質にこだわった純米酒を提供します。

